

迎春

明けましておめでとうござります



皆さまの負託に応え、 菊池市の発展に尽くします

皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃私ども市議会にお寄せ戴きましたご支援とご協力に対し、心より厚くお礼申し上げます。

合併後、早や3年を過ぎようとしています。私たちが議会といたしましても市民の皆さまの負託に応えるべく一丸となって活気ある新しいまちづくりに取り組んでいるところであります。

国が進めています地方分権の推進、三位一体の改革は自己決定、自己責任を明確にするものであり、自治体の施策遂行に一層の努力が求められるものと思います。地方の財政状況は非常に厳しく今後さらに厳しさを増していくものと思われれます。

本市においては、少子高齢化の問題、地域経済の活性化、商工業や農業の振興など課題も山積しており、早急且つ真剣な取り組みが求められているところとす。

特に財政基盤の確立は最重要課題であり、議会におきましても、地域の新たな雇用の創出、定住者の促進、自主財源の確保など地域経済活性化のため企業誘致促進特別委員会を設置、執行部共々全力で取り組んでいるところとす。

一方で市民生活の基盤であります、道路や上下水道、公園、公共施設等のインフラ整備も重要な取り組みであります。市民生活の利便性の向上や安全性の確保、また潤いのある住環境の整備など安心して暮らせるまちづくりの基礎であり、新市建設

計画に基づき進められているところであります。菊池市の均衡ある発展に向け、私たちが議会は住民代表機関として政策形成や監視機能など、これまで以上に積極的活動が求められているものと思ひます。

本年も山積する課題に向け、市民の皆さまのご期待に応え得るよう決意も新たに致しております。併せまして、より身近で市民に開かれた公平、公正な議会運営に努めてまいりますと思ひます。

本年も更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成20年 元旦

菊池市議会議長 北田 彰



市民と一体となった 協働のまちづくり

市民の皆様には、平成20年の初春を、ご家族お揃いで健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年は、市政の様々な分野にわたり、皆さま方の大変なお力添えを賜り厚くお礼申し上げます。

近年、地域社会を取り巻く状況は、過疎や少子高齢化の進行、高度情報化によるコミュニティの希薄化、産業構造などの変化に伴う地域間格差、暮らしの安心・安全の確保等の様々な問題を抱えております。

地方自治体を取り巻く環境も地方分権改革がスタートし、地方が自主・自立の地域社会、分権型社会への移行が進められてきました。しかし、国から地方へ税源移譲が実現したものの、国庫補助負担金の補助率等の削減や地方交付税が大幅に削減されたことなどにより、地方における住民サービスに支障が生じる結果となっております。

住民の意向に基づく行政運営を行うためには、自治体が財政的にも自立していくことが不可欠です。そのためには、国と地方の仕事量に見合った税源配分の見直し、併せて地方交付税の機能堅持(回復)が図られるよう国に強く要望を行い、財政調整・財源保証の機能を強化していかねければなりません。

本市においても事務事業の必要性を精査し、不要なものは廃止するとともに民間が行うにふさわしいものは民間に委ねるなど、行政改革を断行し財政基盤のしつかりした足腰の強い自治体をつくり、新しい政策を創造していかねばなりません。

また、活力ある豊かな市民生活を実現するためには、効率・効果的な行政運営はもとより、地域に内在する宝を掘り起こし、知恵を出し合い、お互いに協力していく必要があります。そうした意味でも、昨年協定を締

結した県立大学や九州東海大学との官学連携を活用し積極的に融合させ取り組んでまいります。

今年も、新「菊池市」が誕生して4年目を迎えますが、「豊かな水と緑、光あふれる田園文化のまち」の実現に向けた基本構想・基本計画を基にしたロードマップを、市民の皆さまの参画と協働の理念のもとに、目標を共有し、一歩ずつ着実に推進してまいります。

本年も、市民の皆さまの更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、市民の皆さま方にとりまして、本年が充実した一年になることを期待いたしますとともに、幸多い年でありませうとご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成20年 元旦

菊池市長 福村 三男